

—では、さつそくナイトロードのディテールをチェックしてみたいと思います。が、せつかくなので、すでにオーナーとなつていらっしゃる方にもご登場いただき、一緒に魅力を検証していきましょう。

平松要さん（以下、要さん） 実はウルトラにも乗っているのですが、ちょっと大きいんですね。それで、街乗りとかちよこつとした時の足として使えるバイクがほしかったんです。

将来的には妻（以下、美穂さん）に乗らせて、2台でツーリングに行ければいいなあ、なんて思っています。

美穂さん まだ免許がないので、今はもっぱらタンデム・シートですが、これって他のVRSシリーズのハーレーと比べて、タンデム部分のカタチが違いますよね。厚みがあつてすごく乗りやすいです。

—さつそくホイールをブラックにペイントするなんて大胆ですね。

要さん 実は昔からFXBスタージスに憧れていたんです。カラーリングもスタイルもいいですよ。と同時に、人と違ったバイクに乗りたかつたので、スタージス風に仕上げようと思つたんです。いつてみれば「VRS CDB」みたいな（笑）。

ナイトロードはドラッグ・スタイルで、何といつても黒いところがいいですね。もし、これでエンジンのシリンダーが黒くなかつたら決めていなかったかもしれせん。今後は、フロント・フォークのボトム・ケースやトリプル・ツリーなども黒く塗りたいです。

美穂さん ポジションも女性に優しいと思います。スポーツスターのローとシートの高さ的には同じですが、こちらの方が取り回ししやすいかも。運転できるようになるのが今から楽しみです。



タンデムでナイトロードを楽しむ、平松さん夫妻のバイクを拝見

ホイールをブラックにペイント



スタージスのカラーと同じ、ブラック・ベースにオレンジのラインを入れた「これだとコピーリングされて洗車もラクなんです」



'80FXBスタージス



「これからは、水冷の時代。ハーレーというよりは「ナイトロードに乗り始めた」という感覚ですね」と平松要さん



マフラー

スラッシュ・カットのエンド・デザインで、ドラッグ・レーサーの雰囲気を醸し出す新設計フォルムのマフラー。マフラー上部には、カカトを置くためのステップも付いている



ステップ

ミッド・ステップを採用し、車高も抑えられたことで扱いやすいパッケージを実現。しかも、VRS Cでフォワード・ステップが付いていた部分を生かし、ハイウェイ・ペグ代わりに使えるステップが追加されているのがミソ



リアサス

リアのサスペンションも各部のブラック・パーツに合わせて、コイル部分にブラックに。メッキとのバランスがポイントだ。これはVR SCBで採用されていたモノと同じカラー



シート

シートも新設計。タンデム部分が大きく取られていることで、ベア・ライド時もパッセンジャーが疲れにくい。また、ガソリン・タンクはシート下。イグニッション部分のキーを反対に回すと開く。ガソリン・スタンドで焦らないように

